

令和4年度 第3回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和4年6月21日（火）午後1時30分～午後4時30分

会 場 下野市役所3階 教育委員会室

出席委員 教 育 長 石崎 雅也 職務代理者 永山 伸一
委 員 熊田 裕子 委 員 石嶋 和夫
委 員 佐間田 香

出席職員 教育次長 近藤 善昭
教育総務課長 上野 和芳
学校教育課長 石島 直
生涯学習文化課長 浅香 浩幸
文化財課長 山口 耕一
スポーツ振興課長 若林 毅
教育総務課課長補佐 神田 晃
教育総務課主事 慶留間 遥

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍 聴 者 0 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和4年7月19日

議 事

- 議案第12号 下野市学校適正配置推進協議会委員の委嘱について
- 議案第13号 下野市小中一貫教育推進協議会委員の委嘱について
- 議案第14号 下野市教育支援委員会委員の委嘱について
- 議案第15号 下野市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- 議案第16号 下野市社会教育委員の委嘱について
- 議案第17号 下野市ふれあい学習推進委員の委嘱について
- 議案第18号 下野市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 議案第19号 下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について

協議事項

- (1) 教育委員会後援等の承認について

報告事項

- (1) 教育委員会後援等の承認について
- (2) 下野市学校適正配置推進協議会設置要綱の一部改正について
- (3) 令和4年度春季中学校体育大会（県大会）の結果報告について

その他

- (1) 第15回下野市教育のつどい 講師選定について
- (2) 国分寺小学校 学校訪問について
- (3) 学事視察バス座席レイアウト
- (4) 令和4年度下野市教職員合同全体研修会の開催について
- (5) 令和4年度下都賀地区人権フォーラムの開催について [延期後再案内]

1. 開会
2. 教育長挨拶及び報告

(石崎教育長)

5月16日から本日6月21日までの職務について報告する。

- ・ 5月17日、令和4年第2回市議会臨時会が開催された。4月の市議会議員選挙後、初めて開かれた議会であった。議席の指定、正副議長の選挙、常任委員会委員の選任、市監査委員の選任等が行われた。
- ・ 5月18日、第2回市定例校長会議が行われた。連絡・説明事項として「学校支援ボランティアバンクの活用推進について」「中学生議会の開催について」「いちご一会とちぎ国体下野市学校連携事業について」等があった。私からは、「1か月が経ち、校内組織体制や人間関係を見直す時期にあること」「スタミナが切れかかっている、特に新入生に配慮すること」「平和な時こそ、新たなトラブルの芽が見えにくくなっているので注意すること」等の話をした。
- ・ 同日、第2回下都賀地区教育長部会が、野木町交流センター「野木ホフマン館」を会場として開催された。「令和4年度定期異動の成果と課題」に関する意見交換等を行った。会議終了後には、野木町煉瓦窯の見学があった。
- ・ 5月19日、新任校長面談として、南河内第二中学校の田澤校長と面談を行った。
- ・ 同日、祇園小学校の星野校長による市長表敬訪問が行われた。今回、子どもの読書活動優秀実践校「文部科学大臣表彰」を受けた。今回の受賞で、4年連続で下野市内の小学校が受賞したこととなった。
- ・ 同日、市いちご一会とちぎ国体実施本部会議（庁内会議）が行われた。市競技会場における職員動員計画等が議題であった。
- ・ 同日、下野市と栃木S Cによる地域支援パートナーシップ協定締結署名式が開催された。市から栃木S Cに対し経済的支援を行う代わりに、栃木S Cと協働して、小学生を対象としたサッカー教室や、シニア世代を対象とした体操教室等を開催するものである。
- ・ 5月20日、古山小学校共同訪問が行われた。下都賀教育事務所職員7名、市教育委員会事務局職員6名の計13名で訪問した。
- ・ 5月21日、南河内小中学校運動会が行われる予定であったが、雨天のため翌日へと延期された。午前中に前期課程、午後に後期課程の運動会を実施したが、一部の児童生徒たちが互いに関わる場面もあった。
- ・ 5月23日、第1回人事問題協議会が開催された。市教育

委員会主催の会議であり、市町間異動の推進や、新たな取組の方向性についての協議を行った。また、教員業務支援員や定年延長、再任用についての説明があった。

- ・ 5月25日、一般財団法人グリムの里いしばし第1回評議員会が開催された。石嶋委員をはじめ、評議員9名（1名欠席）のほか、谷萩昌道理事長、上野和憲館長、事務局員、生涯学習文化課職員が出席した。事業や決算・予算関係のほか、「お菓子の家及び喫茶室カフェパウゼ『風』の運営状況について」「大型遊具の設置について」等の説明があった。
- ・ 同日、市国際交流協会総会が開催された。事業や決算・予算関係のほか、役員及び専門委員会委員改選等について審議を行い、会長が伊沢一郎氏から黒須重光氏へと替わった。
- ・ 5月26日、市図書館協議会が開催された。委員長として青木ムツミ氏、副委員長として鈴木一恵氏が選出された。図書館利用状況や図書館外部評価及び、図書館事業計画等について審議を行った。
- ・ 5月27日、関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（栃木大会）が、真岡市民会館で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、書面開催となった。
- ・ 5月28日、国分寺小学校運動会が行われた。新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度に引き続き、国分寺運動公園にて開催された。
- ・ 5月29日、南河内第二中学校3学年の生徒が修学旅行へ出発した。30日には石橋中学校、6月1日には緑小学校、2日には古山小学校と国分寺東小学校の児童生徒が出発した。中学校2校は2泊3日で京都・奈良、小学校3校は1泊2日で福島方面へ向かった。
- ・ 同日、市青少年育成市民会議総会が開催された。会長は引き続き大塩宗里氏である。当会議には小中学校音楽祭への補助並びに運営、子どもなんでも発表会、児童表彰、子ども未来プロジェクトへの補助等を行ってもらっている。
- ・ 5月31日、第1回公民館運営審議会が開催された。委員15名のうち11名の方が、今年度新たに就任した。
- ・ 6月1日、栃木県南公立図書館連絡協議会総会が開催された。昨年度から浅香生涯学習文化課長が会長であるため、下野市にて開催された。下都賀管内3市2町にある図書館長等が出席した。
- ・ 6月2日、議員全員協議会が開催された。教育委員会からは「教室モニター設置事業」と「別処山公園LED照明施設借上事業」について説明を行った。

- ・ 6月3日、第1回文化財保護審議会が開催された。会長に元公立学校教員の小林利孝氏、副会長に元下野市文化課長の永山登志子氏が選出された。
- ・ 同日、第1回教科書選定委員会が開かれた。永山委員が会長に就き、令和5年度の特別支援学級用教科用図書選定のための諮問を行った。
- ・ 6月6日、図書館システム選定委員会が開催された。今年12月をもって、現在のリース並びに保守対応機関が終了の予定であるため開催された。実施要領、仕様書、審査基準等を審議、決定した。
- ・ 6月7日、グリムの森遊具設置プロポーザルプレゼンテーションが行われた。4社のプレゼンテーションに対し審査を行い、工事請負候補者が決定した。
- ・ 6月8日、第62回新型コロナウイルス感染症対策本部定例報告会議が開催された。今後は随時、必要に応じて開催されることとなった。
- ・ 同日、社会を明るくする運動推進委員会が開催された。広瀬委員長の進行の下、今年度の事業計画等について協議した。主な事業は「内閣総理大臣メッセージ伝達式及び後援会」と「街頭啓発活動」である。
- ・ 6月9日、小谷野市議会前議長掲額式が開催され、議員全員と市三役が出席した。正副議長室に額が飾られた。
- ・ 同日、令和4年度第2回市議会定例会が開会した。会期は6月24日までである。一般質問のうち教育委員会関係は「国指定史跡下野薬師寺跡の今後の活用について」「これからの主権者教育並びに政治分野における男女共同参画推進について」の2点であった。
- ・ 6月13日、市幼小連絡協議会総会が開催された。幼稚園、認定こども園、保育園の園長15名と、小学校及び義務教育学校の校長9名が参加した。
- ・ 6月15日、教職員評価制度に係る管理職当初面談を実施した。17日、23日と合わせ3日間で、校長12名、教頭13名との面談を実施する。「学校経営」「学校教育管理」「人事管理」の各区分において、「今年度の目標」と「目標達成のための具体的な手段」について協議の中で決定する。
- ・ 同日、第3回下都賀地区教育長部会が開催された。主な協議事項は「令和4年度定期異動の成果と課題について」「県教育委員会事務局による『県立高校再編に関する市町訪問』への対応について」等であった。
- ・ 6月14日、県手をつなぐ育成会役員が、「心のとも運動」への協力依頼のため来庁した。

- ・ 6月18日、南河内第二中学校運動会が開催された。スローガンは「三原色～校庭に輝く三色の二中星」であった。
- ・ 6月20日、第1回国分寺学校給食センター運営委員会が開催された。センターの概要説明、昨年度給食費の決算報告等があった。
- ・ 同日、英語でコミュニケーションDAY第1日を開催した。国分寺小学校に10名のALTが集まり開催された。
- ・ 同日、池澤前教育長による市長表敬訪問が行われた。今回春の叙勲を受けられ、ご夫人とともに訪問された。
- ・ 同日、石橋北小学校の倉井さんによる市長表敬訪問が行われた。第3回全日本ブレイキン選手権大会「ジュニアBOYの部」で優勝したことによる表敬訪問であった。

以上の報告内容について、質疑等はあるか。

(佐間田委員) 先日学校から「高校再編県民フォーラム」の通知が配布されたが、これは先ほど教育長が述べた「県立高校再編に関する市町訪問」と関係するものなのか。

(石崎教育長) 今回の市町訪問は、あくまで「高校再編についての意見収集」のためのものである。

他に質疑等はあるか。(特になし)

(熊田委員) 子どもの読書活動優秀実践校「文部科学大臣表彰」について、今回は祇園小学校が受賞したということによろしいか。

(石崎教育長) そのとおりである。また、過去3年間で吉田東小学校、吉田西小学校、細谷小学校が同じく受賞している。

他に質疑等はあるか。(特になし)

3. 議事録署名人の選任 永山委員及び佐間田委員を指名

4. 前回議事録の承認

(石崎教育長) 前回議事録について、事務局より説明を求める。

(神田教育総務課課長補佐) 令和4年度第2回教育委員会定例会の議事録について、修正箇所の説明を行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

議事録はこのとおり承認とする。

5. 議事

(石崎教育長) 議案第12号から第18号については、個人情報に関する案件なので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により、非公開として進めたいと思うが、よろしいか。(全委員異議なし)

それでは、議案第12号から第18号については、非公開として進める。

まず、議案第12号 下野市学校適正配置推進協議会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長) 議案第12号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第12号は原案どおり決定する。
続いて、議案第13号 下野市小中一貫教育推進協議会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長) 議案第13号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第13号は原案どおり決定する。
続いて、議案第14号 下野市教育支援委員会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長) 議案第14号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第14号は原案どおり決定する。
続いて、議案第15号 下野市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長) 議案第15号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第15号は原案どおり決定する。
続いて、議案第16号 下野市社会教育委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長) 議案第16号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第16号は原案どおり決定する。
続いて、議案第17号 下野市ふれあい学習推進委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長) 議案第17号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第17号は原案どおり決定する。

続いて、議案第18号 下野市公民館運営審議会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長) 議案第18号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第18号は原案どおり決定する。

ここで非公開を解く。

続いて、議案第19号 下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について、説明を求める。

(山口文化財課長) 下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について、提案する。内容としては、筆ペンを別表に追加するものである。

関西の寺院に付属する資料館などでは、筆ペンを用いた写経などを行っているようである。しかし、政教分離の関係で、市の歴史館で写経を実施することはできない。しかし、古代の送り状である木簡に文字を書く体験活動等ならば実施可能ということで、子どもたち向けに、筆ペンと木簡を使った体験活動を開きたいという要望が歴史館側からあり、筆ペンを有償刊行物に追加することとなった。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

(熊田委員) この筆ペンは、300円で販売もするが、別途資料館の体験活動でも使用するというのでよろしいか。

(山口文化財課長) 歴史館で実施する、児童向けの夏休みの体験活動に参加する際に購入してもらう形になる。

(佐間田委員) 本日、筆ペンの他にクリアファイルも配布されたが、とても素敵なデザインだと感じた。これは誰によるものなのか。

(山口文化財課長) 歴史館の会計年度任用職員にデザインが得意な方がおり、その方をお願いしている。作製するものに関しては、資料館員が様々なアイデアを出してくれている。

また、前回有償刊行物として追加した「マンガふるさとの偉人 下毛野古麻呂」が、しもつけ風土記の丘資料館にて、先週の土曜日、日曜日だけで40冊売れたようである。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)

議案第19号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第19号は原案どおり決定する。

続いて、協議事項に移る。

6. 協議事項

(石崎教育長) (1) 教育委員会後援等の承認について、説明を求める。

(上野教育総務課長) 後援申請が1件あり、こちらは以前、事務局にて後援不承認

としていた事業であった。しかし、協議が必要な案件であると改めて判断し、今回上程した。資料をもとに申請事業について説明を行う。

(石崎教育長)

意見等はあるか。

補足する。以前不承認とした理由だが、会場が県外であり、下野市の児童を特に対象とする事業とは考えにくいためであった。しかし、当該事業の「招待枠」にあたる児童が市内にいる可能性もあり、今回教育委員の皆様にご諮るものである。

(石嶋委員)

今までも今回と同様に、県外の会場で実施していたのか。

(上野教育総務課長)

今回と同じ会場だったこともあるが、別の会場だったこともあるようである。

(石嶋委員)

対象者は栃木県内の児童ということによろしいか。

(上野教育総務課長)

そのとおりである。

(石嶋委員)

栃木県内の施設は使用しないのか。当該申請団体が借りることができなかったのか。

(上野教育総務課長)

申請団体は栃木県内の事業団体ではなく、この他にも全国的に事業を展開しているようである。そのため、栃木県内の会場ではなく、県を跨いだ会場が多くなっているものと思われる。また、県外に出た体験ということ、日常とは違う環境で子どもたちに活動をさせたいからなのではないかと考える。

(石嶋委員)

当該事業で心配な点が2つある。まず、宿泊期間・施設に対して、参加費が高額であること。これは有償ボランティアの人件費等も参加費から支出しているからだと考えられる。また、引率する団体職員が、参加する児童に対して少数であること。ボランティアはいるが、経験値や熟練度がどの程度か分からない。そんな中、少人数の正規職員で引率をすることには懸念がある。

(上野教育総務課長)

ボランティアの研修状況や、経験回数等についての詳細は、事務局には届いていない状況である。

(永山委員)

申請団体の定款を見たが、今回の申請事業についての記載がなかった。また、当該申請事業と、申請団体が通常実施している事業とのつながりが見えてこない。更に、申請団体から提出された資料に「支援地域」という記載があったが、こちらには下野市は載っておらず、別地域のみが並んでいる状態である。

1点伺うが、有料参加者から集めた参加料で、当該申請事業の支出分を全て賄うのか。

(上野教育総務課長)

そのとおりである。

(石崎教育長)

下野市の児童が、有料で参加することもあり得るということか。

(上野教育総務課長)

下野市在住の児童が、お金を払って参加することも十分あり得る。

(石嶋委員)

有料参加者から集めた参加料から、「招待枠」参加者の諸活動

に関する支払いもしているため、参加料の中に実質的に寄附が含まれているということになる。また、引率の大人の食糧費や宿泊費、またアルバイト費用も参加料の中から支出している。そういった事業に対し、「下野市の後援」を出すのは少し違うように思う。

(永山委員) 収支予算書を見ても、やはりこの団体は別地域の支援を主とした事業団体なのだと思う。そのため、今回の申請事業は、主として下野市の児童、栃木県の児童のために実施するものではないと考えられる。事業内容自体は素晴らしいものであり、個人の自由意思で参加費を払い、参加をするのは良いことだとは思っているのだが、「この事業にぜひ参加しましょう」と、下野市教育委員会が積極的に後押しするのは違うように思う。

(熊田委員) チラシを読んでも、参加料の中に「招待枠」での参加者の事業参加費も含まれているということがはっきり分からない。事業自体は良いものだと思うが、そこが少々引かかる。やはり、教育委員会が積極的に後押しをしないほうが良いのではないかとと思う。

(石嶋委員) 一事業として、収入から全ての支出分を賄うのは当然だと思うが、教育委員会の後援事業となると話が違ってくるのではないかと。

(佐間田委員) 一点伺うが、こういったチラシは教育委員会の後援がなければ、学校で配布することはできないのか。

(上野教育総務課長) 当該事業については、今のところ紙ベースでのチラシ配布は行われていない。

(石嶋教育長) 教育委員会後援の承認を受けた後、配布予定であったということはないか。

(上野教育総務課長) そこまでは確認ができていない。

(石嶋委員) 後援をしていない事業でも、児童生徒への配布ではなく、「ご自由にお持ちください。」というような形で、学校内のどこかに置くことはできてしまうのではないかと。

(石嶋教育長) 児童生徒の手元に勝手に届けられては困るため、市内各校長には、学校に直接送付されたチラシ等については、下野市教育委員会に配布の許可をとっているか確認するようお願いしている。原則、下野市教育委員会が認めていないチラシ等については、児童生徒の手元には届かないようにしている。

(石嶋委員) 先生が配ることはできないと思うが、自由に持っていきことができるように置いておくことはできるのではないかと。

(熊田委員) 以前の話ではあるのだが、子どもが学校から地域のスポーツクラブの案内チラシをもらってきたことがある。それは教育委員会の後援等は受けていなかったように思うが。

(石嶋学校教育課長) 私が昨年度までいた学校では、市内のスポーツクラブのチラ

シについては、金額や対象学年、クラブでの活動内容を確認後、無料のものは配布、有料のものは配布せず、学校内に掲示していた。また、同地区内での他の学校とも連携をとり、配布するもの、しないものに違いが出ないように調整をしていた。

(熊田委員) 思い返してみると、確かに市内のスポーツクラブであり、お金がいない体験会等のチラシであったように思う。

(石崎教育長) 昔からある市内のスポーツ団体等、以前からやりとりのある団体は例外ではあるが、原則、市内の団体であっても、市教育委員会を通してもらうことにはなっている。

他に意見等はあるか。(特になし)

それでは、当該事業の教育委員会後援申請については、教育委員の皆様の意見から、不承認としてよろしいか。(全委員不承認)

続いて、報告事項に移る。

7. 報告事項

(石崎教育長) (1) 教育委員会後援等の承認について、説明を求める。

(上野教育総務課長) 6月現在、後援申請3件を承認した旨、報告を行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

(山口文化財課長) 補足説明する。3件目の事業については、例年コロナ禍以前はしもつけ風土記の丘資料館ではなく、道の駅しもつけにて、かんぴょう剥きの体験を実施していた。県内各地域、県北の方からも参加があり、子どもたちがかんぴょうを剥いて持ち帰っていた。しかし、現在はコロナ対策ということで、かんぴょう剥きは実施せず、今回はしもつけ風土記の丘資料館の見学と、粘土を用いて勾玉や埴輪を作る体験活動を実施する予定である。

(石崎教育長) 他に質疑、意見等はあるか。

(永山委員) 今回の申請事業についてはではないが、特定の価値観や社会観念を参加者に押し付けかねない事業を後援することについては心配がある。そういった内容が懸念される事業については、毎回検討をする必要があるのではないかと思う。

(上野教育総務課長) 今後、申請があった全ての団体、事業について、新しく設けた基準と照らし合わせ、承認の可否について検討していきたいと考える。

(永山委員) 「公序良俗に反する」とまでは言えないが、それに類するような団体もあるのが実情である。

市の施設の利用申請の場合は、申請団体が持つ思想等により、使用の可否についてふるいにかけるのは良くないと思う。そこはハードルを下げる必要がある。しかし後援については、下野市教育委員会が「どんどんやってください」とエールを送るといことなので、逆にハードルを非常に高く設定する必要がある。教育

行政がやりたかったことを代わりにやってくれているような事業にまでハードルを上げ、後援承認を行うべきである。施設の利用と、後援の承認を同じハードルにしてはならない。

(石崎教育長)

他に質疑、意見等はあるか。(特になし)

続いて、(2)下野市学校適正配置推進協議会設置要綱の一部改正について、説明を求める。

(上野教育総務課長)

下野市学校適正配置推進協議会設置要綱の一部改正について説明する。今回の改正については、これまで3年としていた委員の任期を、協議会開催期間に合わせて1年に改正するものである。なお、この告示は公布の日から施行する。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(永山委員)

今回の改正は、議案第12号に係るものである。そうであるならば、要綱の任期部分の改正について先に提示をし、その後議案として、改正後の任期に従った人事案を上げるのが順番として正しい。また機会があれば、正しい順序での提示をお願いする。

(上野教育総務課長)

次回、類似の案件があった場合は、要綱の改正について先に提示をし、その後追加議案としてその改正に係る人事案を提出する。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(3)令和4年度春季中学校体育大会(県大会)の結果報告について説明を求める。

(石島学校教育課長)

資料「令和4年度下都賀地区春季大会結果」を基に、市内中学校の下都賀地区春季大会の結果及び県大会(実施済みの競技のみ)の結果を報告する。なお、総合体育大会については、地区大会は7月15日から、県大会は7月22日から開催される。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

続いて、その他の連絡事項に移る。

8. その他

(石崎教育長)

(1)第15回下野市教育のつどい講師選定について、説明を求める。

(上野教育総務課長)

今年度の教育のつどいについては、1月21日に開催するよう準備を進めており、この中で講演の実施を計画している。そこで、講演会の講師について、この場で検討をお願いしたい。

(石崎教育長)

委員の皆様からの推薦等はあるか。

(永山委員)

講演でなくてはならないのか。以前は演奏会等もあったかと思うが。

(上野教育総務課長)

舞台上でのイベントであり、大人だけでなく児童生徒も参加をしているので、講演だけでなく、音楽の演奏等幅広い内容であると良いのではないかと考えている。

(熊田委員)

以前、下都賀地区教育委員会連合会研修会の際に、講師として

推薦した方はいかがか。以前は保護者と先生向けの講話だったが、児童生徒にも分かりやすく興味深い話であったと思う。

(永山委員) 知り合いの音楽家の方にお問い合わせすることもできるかと思う。

以前、教育のつどいの講師をその方をお願いしたことがあったのだが、その時はピアノがある会場を使うことができなくなってしまったため、講演が実現しなかった。今回はピアノがある会場だということで、ステージでの歌唱をお願いできるかと思うが、いかがか。

(石崎教育長) 以前依頼した経緯があるということで、永山委員が推薦された音楽家の方に依頼してよろしいか。(全委員承認)

続いて、(2) 国分寺小学校 学校訪問について、説明を求める。

(上野教育総務課長) 今年度最初の学校訪問を6月27日に国分寺小学校にて実施する。当日は12時55分に、市役所西側通用口前にて集合出発とする。なお、直接学校へ向かう場合は事務局へ連絡のうえ、13時まで学校へ向かってほしい。なお、挨拶については、永山委員にお願いする。また、第2回は熊田委員、第3回は石嶋委員、第4回は佐間田委員にお願いする。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(3) 学事視察バス座席レイアウトについて、説明を求める。

(上野教育総務課長) 資料を基に、7月7日、8日実施の下都賀地区教育委員会連合会学事視察のバス座席について説明する。資料のとおり、間隔を空け、また、窓を開け換気を十分に行い、運行をする。

(石崎教育長) 今のところ、25名程度が参加予定である。

(熊田委員) 前回の会議後、バスには通常的車よりも換気設備が整っているというようなことを聞いた。今回使用する市のバスにも、換気設備は整っているのか。

(上野教育総務課長) 一般の乗用車やワゴン車と比較すると、換気設備は整っているかと思う。参加者にも、車内であまり大声を出さないようにする等、感染対策を講じてほしい。

(石崎教育長) バスはどこかから借りてくるのか。

(上野教育総務課長) 市所有のバスを使用する。

(石崎教育長) 補足する。下都賀地区教育委員会連合会学事視察の行程に変更があったため、関係書類を配布した。確認をお願いする。

続いて、(4) 令和4年度下野市教職員合同全体研修会の開催について、説明を求める。

(石島学校教育課長) 過去2年間はコロナ禍で実施ができなかったが、今年度は8月2日にZoomを活用し、オンライン形式で教職員合同全体研修会を開催することになった。教育委員の皆様においては、講師、校長、教頭、情報担当教諭とともに、下野市役所202会議

室にて参加してもらう形になる。それ以外の教職員は各学校での参加となる。研修内容としては「G I G Aスクール構想の理解」という仮題を設け、上野耕史氏に講話をお願いした。詳細等についてはまた決定次第お伝えする。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

続いて(5)令和4年度下都賀地区人権フォーラムの開催について[延期後再案内]、説明を求める。

(浅香生涯学習文化課長)

下都賀地区人権フォーラムについては、毎年度実施している行事である。本来、6月10日に実施する予定であったが、講師の方に急用ができてしまったということで、7月14日に延期となった。会場は延期前と同様の野木エニスホールである。教育委員の皆様には既に通知を送らせていただいているかと思う。ぜひ出席してほしい。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

それでは、他に事務局各課から連絡事項等はあるか。

(石島学校教育課長)

2点連絡する。まず、先ほど配布した「令和4年度下野市採択地区教科用図書採択事務日程」についてである。教科書選定委員会の第1回を6月3日に開催した。第2回は7月11日に開催する。教科書展示会については、現在、南河内図書館2階の下野教科書センターにて午前9時から午後5時まで実施している。月曜日は休館日であり、開設期間は6月10日から6月25日までである。その後、県で採択した教科書のみ、6月29日から7月18日まで市教育委員会の教育研究所にて展示する予定である。また、翌日7月19日の教育委員会定例会にて、教科書の採択をってもらう予定である。

2点目である。前回、前々回の教育委員会定例会にて、熊田委員から意見のあった、年齢や勤務年数等が記載されている校長等の一覧を配布した。参考にしてもらいたい。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

他に事務局各課から連絡事項等はあるか。

(若林スポーツ振興課長)

前回の教育委員会定例会にて、議題第9号として下野市スポーツ指導員の委嘱について78名の承認を得たところであるが、先日1名の方から辞退の連絡があり、77名となった。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

他に教育委員会事務局から連絡事項等はあるか。

(浅香生涯学習文化課長)

6月26日に国分寺公民館大ホールにて「しもつけウインドオーケストラコンサート2022 ～響けこの音 我が街に～ with しもつけ・おやまジュニアオーケストラ」を開催する。こちらは、下野市文化協会に所属している団体が、下野のジュニアオーケストラ、小山のジュニアオーケストラと合同でコンサートを実施するものである。本日チラシを配布させていただ

た。

続いて、現在建築中の石橋複合施設についてお知らせする。現在工事中ということで、工事現場見学会を7月24日に開催したいと考えている。今後正式な通知が完成次第、再度お知らせする。工事中であり、一度に大人数が入ることはできないため、恐らく30分刻みでグループ分けをし、工事現場を見てもらう形になるかと思われる。もし都合が合えば、参加をしてほしい。

(石崎教育長)

オーケストラについては、3団体の合同事業ということだが、出演者は全員で何人くらいになるのか。

(浅香生涯学習文化課長)

50人程度である。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

事務局各課から他に連絡事項等はあるか。(特になし)

それでは、教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。

(佐間田委員)

3点述べる。まず、先日参加した子ども・子育て会議についてである。事務局には連絡が行っているかもしれないが、他の委員にもお知らせしたいので、お話しする。子ども・子育て会議には、幼児教育に関わる方々が多く参加していたのだが、その方たちから、「幼児教育は、子どものこれからの育ちにとって大切なので、教育委員会と、不登校になってしまうような子の情報を共有したい」との意見があった。

続いて、運動会についてである。コロナ禍によりここ1、2年、運動会が縮小され、午前中だけの開催になったり、保護者の見学が取りやめられたりしてきた。今年も同様に、午前中のみの開催になることが多いようである。私は仕事柄、保護者の方と話すことが多く、そこで運動会についてよく話題に上がるのだが、「午前中で運動会が終わると、お弁当を準備しないでもいいので助かる」「場所取りやお弁当作りのプレッシャーがなく、純粹な気持ちで子どもを応援できるので、運動会が楽しみ」というような声が多く聞こえてきた。また、先生方と話す機会もあり、そこでも運動会について聞いたところ、「午前中で運動会が終わるため、子どもたちの集中力も続き、だらけないのが良い」「熱中症等の心配も少なくなるので良い」というような声も聞こえてきた。先日、関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会研修会の資料をもらったが、そこにも記載があったように、運動会等の学校行事の在り方を見直していても良いのではないかと考える。例えば、学校を地域の中心として考えているならば、学校の運動会に地域の運動会を組み合わせるなどすれば、地域の人々とのつながりを生むことができるのではないか。今までの在り方とは違った、新たな行事の形を模索してみるのもいいのではないかと、保護者や先生の生の声を聞いて感じた。

最後に、校外学習での子どもたちのタブレット活用について

である。実際に子どもたちが校外学習においてどのようにタブレットを活用し、どんなアプリを使っているのかを知りたいので、もし可能であれば、後日学事視察の時などに、実際に石島学校教育課長にタブレットを持ってきてもらい、使い方の例示をしてほしい。

(石崎教育長) 学事視察は教育委員の皆様のみ参加であるため、その際に例示するのは難しいかと思う。代わりに、下野市教育委員会が主催するイベント等の折に示すことができればと思う。検討させてほしい。

(佐間田委員) どんなアプリを使って、どんな活動をしているというのは、子どもからは聞いているのだが、それを実際に授業でどのように共有しているかは分からないので、機会があればぜひお願いしたい。

(石崎教育長) 学校訪問等で、子どもたちが実際にタブレットを使っているところを見られると良い。

(佐間田委員) 学校訪問に行くと、確かに子どもたちがタブレットを活用している場面を見ることができるが、具体的にもっとタブレットを活かしているような場面が見られたら良いと感じている。

(石崎教育長) 各学校から校外学習についての情報を寄せてもらい、日程や場所を伝えられれば、実際の活用の様子を見てもらうことができるかと思う。事務局がタブレットを操作して例示するのも良いが、やはり実際に子どもたちがどうやって使っているのかを見てもらうほうが良いと思う。

(佐間田委員) 昨年度はタブレットの活用が始まったばかりであった。しかし、2年目に入ったので、例えば、部活動等でもタブレットの機能を活用し、自分の弱点や癖を振り返り、技能向上に役立てることもできるのではないかと感じている。

(石崎教育長) 活用方法はこれから更に検討していく。また、児童生徒がタブレットを校外学習で使用しているところを見学できる場を設定することを、事務局へ求める。

(石島学校教育課長) 学校側と調整していく。

(石崎教育長) それでは、他に教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。

(永山委員) 5月23日に栃木県市町村教育委員会連合会総会が開催された。以前下野市教育委員会にて検討した、栃木県教育委員会への要望事項を伝えてきたので、報告する。

(石崎教育長) 他に教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。(特になし)

それでは、以上でよろしいか。(全委員承認)

次回の教育委員会は、7月19日(火)午後1時30分からの予定とする。

本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後4時30分閉会。

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人